

令和8(2026)年度

京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻(修士課程)
学生募集要項

〔一般選抜〕
〔社会人特別選抜〕

京都大学大学院医学研究科

令和8(2026)年度 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻(修士課程)学生募集要項 〔一般選抜〕〔社会人特別選抜〕

ー京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻を志望される方へー

医学・医療はめざましい進歩を遂げてきましたが、今後もこれを継続させて、さらに発展させる必要があります。京都大学大学院医学研究科は、高度先進医療をさらに推し進めると共にこれからの日本にふさわしい医療・保健・福祉を構築するため、人間健康科学系専攻を設置しました。人間健康科学系専攻では、望ましい医療を患者さんへ届けられる高い臨床能力と豊かな人間性を備えた医療専門職、そして臨床と基礎の融合及び異なる分野との連携など京都大学の知財を活用して新たな領域を開拓する研究・教育者を育成します。これからの医学・医療を支えていこうという熱意を持った皆さんの入学を歓迎します。

I 募集人員

先端看護科学コース(高度実践助産学系を含む) 先端リハビリテーション科学コース 総合医療科学コース ※社会人特別選抜を含む	}	※ 70名
---	---	-------

II 出願資格

**※出願しようとする者は、必ず出願前に志望する教育研究分野の教員と今後の研究内容等について相談しておくこと。
志望教員は「修士課程学生募集研究領域」に記載のある教員に限る。**

次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号のいずれかについて2026年3月末日までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法 第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（事前確認申請必要 第Ⅲ項参照）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（事前確認申請必要 第Ⅲ項参照）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和29年2月7日文部省告示第5号）
- (8) 大学に3年以上在学した者（学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本研究科において、個別の入学資格審査により、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（出願資格審査申請必要 第Ⅲ項参照）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者（出願資格審査申請必要 第Ⅲ項参照）
- (10) 上記に加え、研究分野によっては、医療専門職（看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士等）の資格を有し、2年以上の臨床経験を有することが望ましい。

※ 社会人特別選抜を志願できる者は、上記の出願資格のいずれかに該当する者で、**入学時で3年以上の志望分野に関連する医療実務経験を有する者とする。**

（社会人特別選抜による入学者についても一般選抜の入学者と同一の授業カリキュラムとなる。）

※ **先端看護科学コース高度実践助産学系を志願できる者は、上記の出願資格のいずれかに該当し、入学時に看護師免許を有する女子とする。**

◎ 出願資格(8)、(9)により出願を希望する者は、出願に先立ち資格審査が必要となる。また、出願資格(3)、(4)により出願を希望する者(外国において学校教育における16年の課程を修了した者と、外国の大学を卒業した者)は、出願に先立ちアドミッション支援オフィス(AAO)申請手続および事前確認が必要となる。事前に連絡のうえ、申請書(2ページ「Ⅲ出願資格審査および事前確認」の項目参照)を2025年6月20日(金)午後5時までに医学研究科教務課人間健康教務掛へ提出すること。

Ⅲ 出願資格審査および事前確認

(1) 申請書類受理期間

出願資格(8)、(9)により出願を希望する者は、出願に先立ち資格審査を行う。また、出願資格(3)、(4)により出願を希望する者(外国において学校教育における16年の課程を修了した者と、外国の大学を卒業した者)は、事前確認を行う。次の申請書類を2025年6月20日(金)午後5時までに医学研究科教務課人間健康教務掛へ持参もしくは郵送で提出すること。郵送(書留速達郵便)による場合は、封筒の表に「令和8(2026)年度大学院医学研究科人間健康科学系専攻(修士課程)出願資格申請」と朱書きし、必ず書留速達郵便とすること。

ただし、2025年6月18日(水)以前の発信局消印のある書留速達郵便(日本国内郵便)に限り、期限後に到着した場合でも受理する。各国・地域における郵便物の取扱状況等により、申請書類を期日までに提出できない場合は、2025年6月18日(水)までに医学研究科教務課人間健康教務掛へ連絡すること。

(2) 申請書類提出先

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 京都大学大学院医学研究科教務課人間健康教務掛

(3) 申請書類 (*印は所定書式を医学研究科 HP からダウンロードして使用すること。)

・ 出願資格(8)により出願しようとする者

*	1	出願資格審査申請書	学歴は高等学校卒業から記入すること。
*	2	出願資格審査推薦書	在籍している学校の学部長が作成し厳封したもの。
	3	志望理由書	関心を持つ分野、研究計画、将来の目標をA4用紙3枚程度に記入すること。
	4	在学証明書	在籍している学校長等が作成したもの。コピー不可。発行日より3か月以内。
	5	成績証明書	在籍している学校長等が作成したもの。複写不可用紙のもの。コピー不可。発行日より3か月以内。
	6	授業科目の学年配当表等の写し	在籍している大学当該学部学科1年次から3年次までの授業科目名、配当学年、単位数、必修選択の別、4年次への進級条件及び卒業要件の記載されているものの写し。
	7	講義要目等の写し	「授業科目の学年配当表等の写し」に記載されている科目の講義内容を説明している部分の写し。

・ 出願資格(9)により出願しようとする者

*	1	出願資格審査申請書	学歴は高等学校卒業から記入すること。
	2	志望理由書	関心を持つ分野、研究計画、将来の目標をA4用紙3枚程度に記入すること。
	3	最終学歴に関する証明書	卒業(修了)証明書、成績証明書を提出すること。コピー不可。発行日より3か月以内。成績証明書は複写不可用紙のもの。 (短期大学又は高等専門学校の専攻科を卒業(修了)した者は、短期大学又は高等専門学校の卒業(修了)証明書、成績証明書を併せて提出すること。京都大学医療技術短期大学部を卒業した者は不要。) 改姓・改名により願書記載の氏名と証明書記載の氏名に違いがある場合、また旧姓による受験を希望する場合、その事実が確認できる書類(新・旧氏名が記載された改姓・改名の事実が確認できる公的書類)を合わせて提出すること。
	4	最終学歴の学校に関する資料	入学資格、卒業又は修了に必要な年限・単位数(時間数)が記載された資料を提出すること。(京都大学医療技術短期大学部を卒業した者は不要。)
	5	その他参考となるもの	科目等履修生等の成績証明書、資格・免許の写し、学会発表時の抄録。

・ 出願資格(3)、(4)により出願しようとする者(外国において学校教育における16年の課程を修了した者もしくは修了見込の者、外国の大学を卒業した者もしくは卒業見込みの者)

事前確認申請までにアドミッション支援オフィス(AAO)申請手続を完了すること。(<https://www.aao.opir.kyoto-u.ac.jp/>)

*	1	出願資格審査申請書	学歴は高等学校卒業から記入すること。
*	2	出願資格確認 チェックシート	学歴に関する履歴。小学校入学から最終学歴卒業まで記入したもの。
	3	最終学歴に関する証明書	卒業／修了(見込)証明書、成績証明書を提出すること。コピー不可。発行日より3か月以内。成績証明書は複写不可用紙のもの。

(4) 資格審査および事前確認

資格審査および事前確認は、提出された申請書類等に基づき審査を行う。

(5) 資格審査および事前確認結果

2025年7月中旬までに申請者へ簡易書留速達郵便もしくはメールにより通知する。

Ⅳ 出願手続

出願手続きは「京都大学 WEB 出願システム」で行います。出願期間内に WEB 出願システムでの出願登録および入学検定料の支払い、出願書類の提出（アップロードおよび郵送）を完了させてください。なお、出願前に志望する研究分野の教員と今後の研究内容等について必ず相談しておくこと。

(1) 出願期間

2025年7月10日(木)～2025年7月16日(水)午後5時まで

郵送が必要な出願書類は、角型2号の封筒の表面に「人間健康科学系専攻修士課程入学願書在中」と朱書きし、後述の宛先に**書留速達郵便**で送付すること。(持参は認められない。) 期間後に到着したものは受理しない。**ただし、2025年7月11日(金)以前の発信局消印のある書留速達郵便(日本国内郵便)に限り、期間後に到着した場合でも受理する。**各国・地域における郵便物の取扱状況等により、出願書類を期日までに提出できない場合は、2025年7月11日(金)までに医学研究科教務課人間健康教務掛へ連絡すること。

出願書類提出先：〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 京都大学大学院医学研究科教務課人間健康教務掛 宛

(2) 出願登録 (WEB 出願登録)

出願には「京都大学 WEB 出願システム」での出願登録が必要です。

出願登録は上記出願期間内でしか行えませんのでご注意ください。

WEB 出願システムの URL

<https://kjs.gakusei.kyoto-u.ac.jp/m2026hhs>

(3) 入学検定料

入学検定料:30,000円

振込期間:2025年7月7日(月)～2025年7月16日(水)

納入方法等：京都大学 EX 決済サービスにより上記の期間に入学検定料を納入すること。

- ①詳細は別紙の入学検定料支払方法に従って納入すること。
- ②コンビニエンスストア、クレジットカード、金融機関ATM、ネットバンキングのいずれかを選択し、納入手続きを行うこと。手数料(650円)が必要。
- ③納入後、支払い及び申込内容の確認画面から「入学検定料収納証明書」をダウンロードすること。
ダウンロードした「入学検定料収納証明書」はWEB 出願システムでの出願登録の際に必要になります。
- ④願書受理後の入学検定料の払戻しには応じない。

※災害により被災した入学志望者に対して、主たる家計支持者が要件に該当する場合は、希望者からの申請により、入学者選抜試験検定料を免除することがある。詳しくは本学ホームページ (http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees_exemption)を確認すること。免除を希望する場合は、**2025年7月4日(金)**までに医学研究科教務課人間健康教務掛へ連絡すること。

(4) 出願に要する書類

WEB 出願システムでの出願登録には、以下の書類等が必要です。WEB 出願システムでの案内に沿ってアップロードしてください。**その上で、◎印の書類は原本を(1)の記載の通りに書留速達郵便で送付してください。**

※アップロードするファイル形式は原則 PDF 形式(証明写真等一部を除く)でフルカラーのものに限る。全ての文字や写真が鮮明に表示されていることを確認すること。証明書、スコア等はスキャンしたものを PDF 形式に変換しアップロードすること。

	1	証明写真	上半身脱帽正面向きで3か月以内に単身で撮影したもの(ファイル形式: JPEG/JPG)
◎	2	成績証明書	出身大学(学部)長の証明したもの。コピー不可。発行日より3か月以内。 成績証明書は複写不可用紙のもの。 ※出願資格(2)による出願者は、学士の学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出すること。
◎	3	卒業(見込)証明書	(京都大学医学部保健学科・人間健康科学科及び京都大学医療技術短期大学部を卒業(見込)した者は不要。) 改姓・改名により願書記載の氏名と証明書記載の氏名に違いがある場合、また旧姓による受験を希望する場合、その事実が確認できる書類(新・旧氏名が記載された改姓・改名の事実が確認できる公的書類)を合わせて提出すること。
◎	4	志望理由書	所定書式を医学研究科ホームページからダウンロードして必要事項を自筆で記入のこと。(黒のボールペンを使用すること。)

◎	5	看護師免許証(写)又は登録済証明書(写)	先端看護科学コース高度実践助産学系を志願する者で、出願時に看護師免許を有する者は看護師免許証(写)を提出すること。看護師免許取得見込の者は国家試験終了後、すみやかに厚生労働省発行の登録済証明書(写)を提出すること。提出しなかった場合は、合格を取り消すことがある。
◎	6	外部試験 (「TOEFL iBT」、 「TOEIC Listening & Reading Test」のいずれか)の成績スコア	以下のいずれかのスコア票等の 原本 1通を同封すること。スコア票等は出願締切日の2年前以降に受験したものに限り有効とする。なお、出願時に原本が提出できない場合は、出願時にインターネットで確認できるスコアを印刷して提出のうえ、原本は試験前日(前日が土日祝の場合は、前開室日)の午後5時までに提出すること。原本が提出されない場合は、受験資格がないものとし、受験を認めない。ただし、外部試験の実施状況により、選抜方法を変更する可能性がある。その場合はホームページにて告知する。 TOEFL iBT : 受験者用控えスコアレポート(Test Taker Score Report)の原本 《注》 ・ TOEFL-ITPのスコア票等は受け付けない。 ・ MyBESTスコアは採用せず、Test Dateスコアを採用する。 TOEIC Listening & Reading Test : 公式認定証(Official Score Certificate)の原本 《注》 ・ TOEIC 団体特別受験制度(IP, Institutional Program)、TOEIC Speaking & Writing Tests、TOEIC Speaking Test、TOEIC Bridge Testのスコア票等は受け付けない。
	7	入学検定料収納証明書	納入後、京都大学EX決済サービスからダウンロードしたもの。
	8	在留カードの写し又は住民票記載事項証明書	外国人留学生のみ。在留カード、住民票記載事項証明書は両面コピーにて提出すること。ただし、来日前の学生はパスポートの写しを提出すること。

注1) 出願後は、原則として書類に記載した事項の変更を認めない。

2) 社会人特別選抜による出願者、及び出願資格(9)による出願者で職歴のある者は、入学手続き時に在職期間証明書を提出すること。

3) 2026年4月入学時に国費外国人留学生として採用もしくは延長が認められた留学生には入学検定料を返還する。(詳しくは入学手続き時に知らせる。)

(5) 受験票等について

受験票は下記期間にWEB出願システムからダウンロードして印刷し、当日持参すること。

また、8月1日(金)～8月6日(水)の間に受験上の連絡事項をWEB出願システムのメッセージ機能を用いて通知するので、必ず確認すること。メッセージが届いていない場合、医学研究科教務課人間健康教務掛に照会すること。

受験票ダウンロード期間：2025年8月1日(金)～試験当日まで

V 入学者選抜方法

学力検査の成績、面接試験、志望理由書、外部試験の成績スコア及び成績証明書を資料とし、総合して判定する。
各コースの研究分野にはそれぞれ収容人数に限りがあり、得点が合格最低点よりも高い場合でも不合格となることがある。
なお、第一・第二志望分野のいずれの教員とも事前に相談をしておくこと。

(1) 学力検査、面接試験

日 時		科 目		試 験 場
2025年 8月19日(火) (予備日:8月20日(水))	9時00分～11時00分	専門(コース別)	筆答	京都大学大学院医学研究 科人間健康科学系専攻
	11時30分～	面接		

- 注1. 試験当日は、試験開始30分前までに集合場所(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)に到着していること。
注2. 外国語(英語)は外部試験の成績スコアを換算して評価する。
 ┌ 一般選抜・・・外国語(英語) 100点、専門 100点
 └ 社会人特別選抜・・・外国語(英語) 100点、専門 200点
注3. 天候その他の事情により試験実施が困難な場合に、試験の実施について変更することがある。変更する場合は、ホームページ(https://www.med.kyoto-u.ac.jp/apply/exam/requirements_ghs/)にて告知するので受験生は必ず確認すること。
注4. 外部試験の実施状況により、選抜方法を変更する可能性がある。その場合はホームページにて告知する。

VI 合格者発表

2025年9月12日(金) 11時30分(予定)
医学研究科ホームページに掲載する。
(<https://www.med.kyoto-u.ac.jp/apply/exam/>)
なお、合格者には合格通知書等を郵送する。
また、合格者発表については、電話等による問い合わせには一切応じない。

VII 入学手続等

- (1) 入学科 282,000円(予定)
(2) 授業料 前期分267,900円(年額 535,800円)(予定)
 ※入学科及び授業料は、入学時・在学時に改定されることがある。
(3) 入学科納付日程及び提出書類、日本学生支援機構奨学金、授業料免除制度、給付奨学金等については、受験票送付時及び合格通知書送付時に通知する。

VIII 注意事項

- (1) 障害等があり受験上、修学上に特別な配慮を必要とする者は、5月30日(金)までに医学研究科教務課人間健康教務掛まで連絡すること。
(2) 出願書類受理後は、出願事項の変更を認めない。又、入学検定料の払い戻しはしない。
(3) 出願書類の記載事項と事実が相違している場合は、入学を取り消すことがある。
(4) 諸事情により、募集要項記載内容に従った出願等がやむを得ず困難な場合は、医学研究科教務課人間健康教務掛へ連絡すること。
(5) 出願書類の返却には一切応じない。

IX 個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金制度等、③入学者の受入準備の目的において、「京都大学における個人情報の保護に関する規程」の定めるところにより取り扱う。

X 成績開示請求について

成績開示請求は合格発表後、2025年12月15日(月)まで受け付ける。
請求の方法は京都大学医学研究科のホームページから確認すること。
https://www.med.kyoto-u.ac.jp/apply/exam/requirements_ghs/

XI その他

以下のコースは、厚生労働大臣指定一般教育訓練給付制度の対象講座として認定されている。

- ・先端看護科学コース高度実践助産学系
- ・高度実践研究者養成プログラム専門看護師課程
- ・医学物理士養成コース

以下のコースは、修士課程から博士後期課程の一貫教育を推奨している。詳細は受験前に志望教員と相談すること。

- ・高度実践研究者養成プログラム専門看護師課程
- ・先端リハビリテーション科学コース教育者養成プログラム
- ・医学物理士養成コース

2025年5月

【問い合わせ先】

〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町

京都大学大学院医学研究科教務課人間健康教務掛

(075) 753-9313, 9314, 9311 (直通) Email: 060-992hs-kyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※問い合わせ時間：平日(土日・祝日を除く)の午前9時～午後5時

※教員への問い合わせ先は、京都大学大学院医学研究科ホームページで確認すること。

(https://www.med.kyoto-u.ac.jp/grad_school/ghs/)

連絡先が記載されていない場合は、医学研究科教務課人間健康教務掛へ問い合わせること。

「人間健康科学系専攻」修士課程学生募集研究領域

(注1) 備考欄に○印のある分野・学生募集研究領域は、2年以上の臨床経験を有することが望ましい。
 (注2) 出願しようとする者は、必ず、出願前に志望する教育研究分野の教員と今後の研究内容について相談しておくこと。
 ●2026年3月退職予定、※2027年3月退職予定

コース	講座	教育研究分野	指導担当教員	学生募集研究領域	備考
先端看護科学	先端基盤看護科学	生活環境看護学	若村 智子 教授	・生体リズムからみた生活環境調整に関する研究や睡眠に関する研究、シフトワーク等に関する研究	
		在宅医療・認知症学	木下 彩栄 教授	・認知症に関する研究 ・認知症患者の在宅支援に関する研究	
		ビッグデータ医科学	奥野 恭史 教授	・人工知能やスーパーコンピュータを用いた医療・創薬のためのデータサイエンス・シミュレーション科学研究	
		看護倫理学	竹之内 沙弥香 准教授	・看護倫理に関する研究 ・重い病を持つ人々を対象とした意思決定支援に関する研究 ・看護教育並びに専門職連携教育に関する研究	
	先端中核看護科学	生活習慣病看護学	任 和子 教授	・生涯にわたり病いとともに生きる人のセルフマネジメント支援と疾病管理及び心理社会的適応を促進する看護ケア開発、並びにそれらを実践するためのシステム構築や看護管理上の課題に関する研究	
		クリティカルケア看護学	西山 知佳 准教授	・データベースを使った心臓突然死、救急搬送に関する疫学研究 ・市民および医療従事者を対象とした心肺蘇生教育に関する研究 ・クリティカル領域・救急領域に関する疫学研究	
			榑 由里 准教授	・クリティカルケア看護の高度な実践能力を発揮し患者の良好なアウトカムを導く実践/ケアに関する研究 ・救急/集中治療におけるエンドオブライフケアに関する研究 ・クリティカルケア領域の家族看護に関する研究	
		精神保健看護学	千葉 理恵 教授	・精神疾患をもつ人々のリカバリー支援・地域生活支援に関する研究 ・精神疾患をもつ人々の家族のQOL向上に関する研究	
		緩和ケア看護学	宮下 美香 教授	・がんサバイバーの全人的苦痛の予防・緩和、およびQuality of Lifeの維持・向上を目指す看護の開発に関する研究	
			嶋田 和貴 准教授	・人工知能（特に機械学習）を用いた緩和ケア用アプリの作成と実装化研究 ・機械学習を用いた緩和ケア領域の病態生理の解析と新規治療標的の抽出に関する探索研究 ・機械学習を用いた成人期以降の知的障がいのある人のための支援ツールの作成と実装化研究	
			未定		
	先端広域看護科学	小児看護学	阿久澤 智恵子 准教授	・健康問題・健康障害の有無やレベルに関わらず、子どもが生活する地域社会や家庭、施設環境の整備に寄与できる研究 ・保育施設における食物アレルギー起因のアナフィラキシー対応に関する研究 ・医療的ケアの必要な子どもと家族への支援、在宅移行支援に関する研究 ・小児がん経験児の地域生活の質の向上を目指す研究	
			古田 真里枝 教授	・周産期メンタルヘルス (traumatic birth, depression) ・Evidence based health care ・周産期領域における疫学研究 ・システマティックレビュー ・国際保健 (健康格差)	
		周産期疫学	アガノ・スチ・デズレナ 准教授 - International scholar	・Treatment communication between patient- doctor ・Family support systems in Palliative care ・事前ケア計画研究 (Advance Care Planning) ・Shared-Decision Making in Cancer and Palliative Care ・Cross Cultural Research in Palliative Care	
			常田 裕子 准教授	・性と生殖の健康に関する研究 (性教育、HPVや男性・女性の妊孕性等) およびそれらに關係する助産師の役割・実践に関する研究 (院内助産・助産外来・妊娠高血圧症候群・母乳育児等)	
			大滝 千文 講師	・看護の可視化研究 ・タイムスタディ ・産科混合病棟の看護に関する研究	
		地域健康創造看護学	塩見 美抄 准教授	・保健師の地域アセスメント技術に関する研究 ・保健師の事業化・施策化能力の獲得に関する研究 ・保健師のキャリア発達、人材育成に関する研究	
			山下 正 准教授	・地域住民の健康格差およびウェルビーイングに関する研究 ・東南アジア諸国における健康増進と健康格差に関する研究	

コース	課程	教育研究分野	指導担当教員	学生募集研究領域	備考
先端看護科学		高度実践助産学系	古田 真里枝 教授 常田 裕子 准教授 大滝 千文 講師	・周産期メンタルヘルス (traumatic birth, depression) ・Evidence based health care ・周産期領域における疫学研究・システマティックレビュー ・女性の社会進出・家族構造の変遷・出産年齢高齢化・生殖補助医療の発達において新たに展開すべきケアに関する研究 ・人の性と生殖・女性の健康に関する研究	

コース	課程	専門看護分野	指導担当教員	学生募集研究領域	備考
先端看護科学	高度実践研究者養成プログラム 専門看護師課程	がん看護学	宮下 美香 教授	・エビデンスに基づく高度ながん看護実践の開発と臨床適用に関する研究	○
		慢性疾患看護学	任 和子 教授	・慢性の病いとともに生きることに資する看護ケア技術の開発及びその看護ケア技術の臨床への適用と評価についての研究	○
		精神看護学	千葉 理恵 教授	・精神疾患をもつ人々や家族への、よりよいアウトカムにつながる看護実践やその評価に関する研究	○
		クリティカルケア看護学	榑 由里 准教授	・クリティカルケア看護の高度な実践能力を発揮し患者の良好なアウトカムを導く実践/ケアに関する研究	○

「人間健康科学系専攻」修士課程学生募集研究領域

(注1) 備考欄に○印のある分野・学生募集研究領域は、2年以上の臨床経験を有することが望ましい。

(注2) 出願しようとする者は、必ず、出願前に志望する教育研究分野の教員と今後の研究内容について相談しておくこと。

●2026年3月退職予定、※2027年3月退職予定

コース	講座	教育研究分野	指導担当教員	学生募集研究領域	備考
先端リハビリテーション科学	先端理学療法学	生体構造学	山田 重人 教授	・ヒトの発生活解剖学に関する研究 ・三次元イメージングを用いた胚の正常・異常に関する形態学的研究 ・ヒト胚子・胎児における運動機能発達画像解析学的研究	
			林 美穂子 准教授	・医学英語教育・英語教育・英語運用能力 ・外国人模範患者育成 ・英語運用能力と運動させた自律的・省察的学習者のためのCan-Do リスト開発(生涯学習ツール開発)	
			林 和寛 講師	・痛みのメカニズムとリハビリテーション ・内部障害リハビリテーション ・実験動物を用いたリハビリテーションの基礎研究	
		運動機能解析学	山口 智史 教授	・ニューロリハビリテーション研究 ・非侵襲的脳刺激法を用いた運動学習の促進効果の検討 ・ヒトの運動制御を理解するための神経生理学的手法を用いた研究 ・ニューロモデュレーションによる中枢神経機能の変調とパフォーマンス改善に関する研究	
			青山 朋樹 教授	・再生医療を促進する技術開発 ・がんサイバーの健康増進、就業、生活支援技術開発 ・健康増進のためのデバイス、サ・ビス開発 ・女性特有の症状、疾患に対する健康増進 ・ACL再生・再建のための膝関節発生と下肢ダイナミクスの関係性の研究	
			伊藤 明良 講師	・再生リハビリテーション研究 ・物理療法に関する基礎研究および橋渡し研究 ・三次元バイオプリンターを用いた移植用細胞培養法の開発 ・非侵襲的神経刺激によるニューロリハビリテーション研究	
		運動機能開発学	建内 宏重 教授	・関節機能障害、姿勢・動作障害の評価および治療方法に関する研究 ・変形性関節症など運動器疾患の機能障害の改善・進行予防に関する研究 ・センサや画像解析などによる身体機能の新たな評価手法の開発	
			バタキ・トッド 准教授	・ヒト運動の三次元データ解析・視覚化に関する研究および軟部組織運動計測手法開発に関する研究	
			未定		
	先端作業療法学	生体機能学	緑川 光春 教授	・発達・学習・活動依存的なシナプス・神経回路の改編機構に関する研究	
		臨床認知神経科学	梁 楠 教授	・脳神経科学、認知運動神経科学 ・中枢運動循環調節機構およびリハビリテーションに関する研究	
			義村 さや香 准教授	・発達症・児童青年期精神医学領域における認知神経科学・精神医学研究 ・精神医学領域の薬物療法以外の治療方法に関する研究	
			入江 啓輔 講師	・手の機能を評価・治療するための機器、アプリケーション開発 ・ヒトの認知活動に伴う脳機能および身体パフォーマンスに関する研究 ・精神疾患を有する人の社会参加に向けた感覚処理と生理学的指標の関係性の研究 ・療育とテクノロジーの融合による二次障害の予防に向けた研究	
		脳機能リハビリテーション学	稲富 宏之 教授	・脳機能リハビリテーションおよび精神機能に関する作業療法学研究	
			川島 啓嗣 准教授	・がんをはじめとした一般身体疾患に伴う精神症状、認知機能、疼痛などに関する研究 ・せん妄の予測・予防、評価、介入、教育に関する研究	
			田畑 阿美 講師	・小児がん患者・家族の作業療法に関する研究 ・脳腫瘍を中心とした脳損傷患者・家族の作業療法、神経心理学的合併症および社会生活機能に関する研究 ・がん専門作業療法士の養成(次世代のがんプロフェッショナル養成プランがんサバイバーシップケアを担うリハビリテーションスタッフの養成)	
総合医療科学	基礎系医療科学	分子生命基礎医療科学	野中 元裕 教授	・免疫原性の低い新規抗体モダリティの創出 ・自己免疫疾患の発症機序の解明および新規診断・治療法の探索 ・糖鎖模倣ペプチドを用いた悪性腫瘍への薬物送達機構の開発	
			森瀬 譲二 准教授	・腎臓に関わる糖鎖の機能的役割とその発現制御機構に関する研究 ・糖鎖構造改変技術の開拓 ・糖転移酵素の細胞内動態解析	
			中川 直樹 准教授	・大脳皮質の発生と神経回路形成の分子・細胞メカニズムに関する研究 ・加齢や精神・神経疾患に伴う脳機能変化の分子・細胞メカニズムに関する研究	
		病因応答基礎医療科学	伊吹 謙太郎 准教授	・ウイルスの病原性解明に向けての分子・細胞レベルの基礎研究、ウイルス感染症の病態解明のための新たな動物モデルの開発研究	
		形態形成基礎医療科学	高桑 徹也 教授	・ヒト胚子の正常および異常に関する形態学的解析を行い、先天異常の発生メカニズムを解明し、胎児診断に結びつける研究	
	臨床系医療科学	臨床ゲノム解析学	松尾 英将 准教授	・造血器腫瘍のゲノム異常の同定と臨床的・機能的意義の解明 ・造血器腫瘍のゲノム異常を標的とした治療法開発 ・微量検体からのゲノム解析技術の開発	
		臨床研究開発学	錦織 桃子 教授	・造血器腫瘍の分子病態および免疫微小環境の解析 ・造血器腫瘍の新規治療開発、薬剤のリポジショニング	
			未定		
		臨床画像検査解析学	藤井 康友 教授	・超音波を用いた新しい診断法および超音波が生体に及ぼす影響に関する研究	
		バイオメディカルデータサイエンス	小島 諒介 准教授	・疾患の発症予測や説明可能性、健康診断のデータを用いた疾患の早期発見および健康改善 ・ゲノム変異・マルチオミクスデータのAIを用いた解析 ・疾患関連因子のネットワークや生体分子ネットワークの解析 ・大規模言語モデルや基盤モデルの医療応用に関する研究	
	理工系医療科学	先端医療画像解析学	杉本 直三 教授	・医用画像処理・計測・表示技術開発による診断や治療の支援 ・上記と連携した撮像法や機器に関する研究・開発	
			澤本 伸克 教授	・ヒトの認知・運動等の脳機能とその障害に関する非侵襲的研究	
			※石津 浩一 准教授	・医療画像データ解析の臨床応用に関する研究	
		先端医療機器システム学	上野 智弘 准教授	・MR顕微鏡を中心とする医療画像装置の開発と基礎医学への応用	
		知能医工学	中尾 恵 教授	・生体と医用画像を対象とした情報学・データ科学に関する研究 ・人工知能、機械学習のイメージング・診断・治療への応用	
			※笹山 哲 准教授	・医療、医学データの情報処理法に関する研究	
		医学物理学	中村 光宏 教授	・放射線医学の高度化に関する医学物理学研究	

コンビニ・クレジットカードでの入学検定料支払方法

コンビニ（セブン-イレブン・ローソン・ミニストップ・ファミリーマート・セイコーマート・デイリーヤマザキ）、クレジットカード、金融機関ATM、ネットバンキングを利用して24時間いつでも支払が可能です。

1 Webから申し込み

以下のURLにアクセスし、一覧から本学を選択後、画面の指示に従って申込みに必要な事項を入力してください。

<https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/>

2 申込内容の確認

受付番号（受験番号ではありません）と**お支払に必要な番号**が表示されるのでメモするか画面を印刷してください。
 なお、個人情報入力画面で入力したメールアドレスとパスワードは収納証明書を表示するときに利用します。

3 お支払い

お支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。

コンビニエンスストア（30万円未満のお支払い）					クレジットカード	
セブンイレブン 	ローソン ミニストップ (Loppi) 	ファミリーマート (マルチコピー機) 	セイコーマート 	デイリーヤマザキ 		
レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えお支払ください。 ※プリントしなかった場合は、番号を伝えるのみでOKです。 マルチコピー機は使用しません	各種サービスメニュー	代金支払い/チャージ (コンビニでお支払い Payment/Charge)	レジで店員に 「インターネット支払い」と伝える	レジで店員に 「オンライン決済」と伝える	本人確認のため、クレジットカードに記載されている情報を入力しますので、支払前にクレジットカードを準備してください。 支払い方法は一括払いのみです。 クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。	
	各種代金・インターネット受付・スマートビットのお支払い					
	各種代金お支払い	番号入力画面に進む				
	マルチペイメントサービス	「お客様番号」を入力				
	「お客様番号」を入力	「確認番号」を入力				
	「確認番号」を入力	注意事項を確認				
	出願情報が正しければ「確認」「印刷」ボタンを押す 端末より申込券が出るので30分以内にレジにて入学検定料を現金にて支払う					
金融機関ATM【Pay-easy】			ネットバンキング			
以下の金融機関でPay-easyマークの付いているATMでお支払いができます。 1回のお申込みにつき、現金では10万円未満、キャッシュカードでは100万円未満のお支払いが可能です。 (利用可能な金融機関の一例) ・ゆうちょ銀行 ・みずほ銀行 ・りそな銀行/埼玉りそな銀行 ■支払い可能金融機関は下記ページの「ATM利用可能一覧」を確認してください。 https://multiple-payment.biz/pages/financial-institution-list.html 			都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申し込みが必要です。 また、楽天銀行、PayPay銀行、auじぶん銀行、住信SBIネット銀行でも支払うことができます。事前に金融機関にて口座の開設が必要です。 			
「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択			お支払いおよび申込内容のご確認画面を開く			
「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を入力			[ネットバンキングでの支払に進む]ボタンを押す			
現金またはキャッシュカードを選択して、入学検定料を支払う			ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログインする			

お支払い可能なコンビニエンスストア・金融機関は変更する場合があります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

交通案内

■京阪電車、神宮丸太町駅（5番出入口）から東へ、徒歩5分

■JR京都駅・近鉄京都駅から

・市バス

206系統（東山通高野北大路ターミナル行）→「熊野神社前」下車

・hoopバス 京都駅ー京都大学病院直通バス 「京大病院前」下車

・地下鉄丸太町駅下車（→市バス乗り換え）

65系統（岩倉行）、93・204系統（錦林車庫行）、202系統（九条車庫行）→「丸太町京阪前」下車

■阪急電車河原町駅から

・市バス

31系統（岩倉行）、201系統（百万遍行）、203系統（錦林車庫行）→「熊野神社前」下車

